

福山駅周辺デザイン計画（案）に係る パブリックコメントの実施結果について

2020年（令和2年）3月

福 山 市

建設局 福山駅前再生推進部

福山駅前再生推進室

1 概要

(1) 公表した案

福山駅周辺デザイン計画（案）

(2) 公表の場所

福山市ホームページ，福山市役所本庁舎（福山駅前再生推進室，市政情報室），各支所

(3) 意見の募集期間

2020年（令和2年）2月18日（火曜日）から同年3月19日（木曜日）まで

2 結果

(1) 提出数 22通 （内訳）個人22

(2) 意見数 43件 （内訳）計画に反映したもの：5件

市の考え方を説明するもの：18件

今後の参考とするもの：20件

※1通の意見に複数の内容が記載されている場合は，それぞれの内容ごとに整理している。

※類似の意見については，内容を集約している。

※該当箇所欄などに記載している頁番号は，編集後の頁番号である。

※該当箇所が不明な意見については，内容に応じた頁番号としている。

1 計画に反映したもの（5件）

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
1	全体を通して	「駅前」という用語と「駅周辺」という用語は、同じエリアを示しているのか。 異なるエリアを示している場合、「ウォークブルな駅前」というよりは「ウォークブルな駅周辺」に変更した方が良い。	「駅前」は2012年3月に策定した「福山駅周辺地区中心市街地の活性化に関する基本方針」に定めるエントランスゾーンを中心とした福山駅前エリアを、「駅周辺」は概ね同方針の福山駅周辺地区中心市街地のゾーンを示します。24頁「ウォークブルな駅前」は、「ウォークブルな駅周辺」に修正します。
2	1頁	「市域全体の発展をめざします。」という記述を「市域全体の一体的な発展と、その効果の備後圏域および中国・四国地方への波及をめざします。」に変更した方が良い。	「市域全体の発展をめざします。」を「市域全体の発展とその効果を備後圏域及び中国・四国地方へと波及させていくことをめざします。」に修正します。
3	2頁	本計画には「実際にまちを使う人」の考えなどが取り込まれているが、どのようなプロセスを経てその考えなどが取り込まれたのか、本文には明記されていない。	図表3に「例：福山駅前アクション会議に参加する市民・事業者など」を追加し、デザイン計画策定までの福山駅前アクション会議の位置付け（図表4）を追加します。
4	4頁	図表6の右横にある各地域についての記述は、現状の説明なのか。それとも、将来イメージなのか。	各地域についての記述は現状の説明です。第五次福山市総合計画に掲げる地域別まちづくり方針に関する内容を追加します。
5	24頁	ウォークブルエリアがめざすのは「多様な人々」の交流等であって、「多様な人材」に限定されないのではないかと。 また、関係人口は「人の数量」に関する概念であるため、関係人口が出会い・交流するという記述は違和感がある。	「人材・関係人口」を「人々」に修正します。

2 市の考え方を説明するもの（18件）

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
1	全体を通して	「周辺地域」を，例えば「市内各地域」に替えることはできないか。	福山駅を中心に各地域への連続性と広がりイメージしやすいように「周辺地域」という表現にしています。
2	全体を通して	福山駅前デザイン会議は，その策定後にはどうなるのか。福山駅前再生の継続性を第三者的な立場で担保する組織として，その役割を果たせるだけの権限を有するかたちで存続するのか。	福山駅前デザイン会議は，福山駅周辺デザイン計画の進捗管理，福山駅前再生に関する都市政策，都市計画，まちづくり計画とそれらに関連する公共・民間・官民連携プロジェクトを共有し，議論していくための場です。 福山駅前デザイン会議は，福山駅周辺デザイン計画策定後も継続します。
3	1頁	福山市民は一人1台の車社会です。車で人が集えることを計画すべきだ。	この計画では，駐車場の集約や適正配置などにより，車でも来やすく歩いて楽しい空間づくりをめざしていきます。
4	1頁	デザイン計画は誰のためのプランか。	福山駅周辺で「働く人」「住む人」「観る人」そして「まちをつくる人」を対象としています。
5	4頁	福山駅前ありきななので駅前までのアクセスが検証されていない。	交通については，中心部や地域の生活拠点に都市機能を集積し，これらをバス，鉄道などで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方でまちづくりを推進していきます。

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
6	8 頁	緑豊かな福山城周辺の木々を伐採しないでください。	現在福山市では、福山城築城 400 年に向けて多くの事業に取り組んでいます。福山城の樹木伐採・剪定につきましては、福山城の遺構や石垣に影響を与えている樹木や今後成長し石垣を崩しかねない樹木及び福山城天守や水野勝成公銅像の眺望を妨げている樹木について計画的にお城の東側から伐採剪定を行なっています。福山城の樹木は市街地の大切な緑であることは認識していますが、遺構や石垣を守るため、文化財の有識者や福山市みどりの審議会などの意見を踏まえ、行っています。なお、伐採した樹木については、保存し、公共施設の利用など、利活用について検討・実施しています。
7	9 頁	広報ふくやま 3 月号に掲載の、駅北口パースと、福山市ホームページに掲載された J R 作成のプレゼン資料の平面図が一致していないと思う。	2019 年（令和元年）7 月に本市と J R 西日本が締結した「福山駅北口広場の整備に関する協定書」に基づき、現在、本市は J R 西日本と施設の設計協議を行っています。設計協議中であっても、その時点での完成予想図を公表しているものです。駅北口広場のイメージがどう変わるのか、使いにくかった送迎機能はどう変わるのかななどを、できるだけ多くの市民の皆様にご知っていただき、関心を持っていただくため、適宜、市民への情報提供に努めてまいります。
8	9 頁	福山城公園東側へ送迎バス乗降場や福山城の駐車を整備すると、騒音や排気ガスなど居住環境が悪化する。 また、歩道を含め歩行者の安全や地域住民の憩いの場はどうなるのか。	騒音や排気ガスにつきましては、居住環境に配慮するようアイドリングストップなど利用方法について、バス関係者等と協議してまいります。 送迎バス乗降場の整備につきましては、歩行者の安全性や周辺環境に調和したものになるよう配慮してまいります。

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
9	9 頁	<p>反対署名を提出しており、当該内容を広く知ってほしい。</p> <p>駅北口広場整備計画は、自家用車による送迎スペースが減少するもので、高齢者の利用に支障がある。今後、高齢化も進むことが予想されることから、これらへの考慮が必要。</p> <p>計画の施設は大規模駐車場であり、隣接する道路が交通渋滞するのでは。</p> <p>立体駐車場をつくっても電車利用者の送迎をする車はこれを利用しないため、北口に車が集中して今以上に狭い道路に車が並び、渋滞及び危険度が増すことが想像できる。</p>	<p>反対署名の用紙には、「自家用車での送迎は降車のみで5台しか予定されていません」と記載されていますが、本市が昨年度策定した「福山駅北口広場整備基本方針」の内容と異なります。</p> <p>この基本方針では、時間を要さない送車には、広島駅でも実績のある5台分の「玉突き型」無料送車場を1階に設け、効率的な降車を実現することとしています。</p> <p>また、時間を要する送車や迎車については、上層階にある約310台の送迎を兼ねた駐車場を一定時間無料で使用する計画となっています。</p> <p>現在の一般車送迎場は、無料であることによる長時間駐車や駐車容量の不足に端を発し、送迎機能の低下や周辺道路の渋滞など様々な交通問題へと波及している状況にあります。</p> <p>新たに整備する施設では、これらの問題が大きく改善され、いつでも安心して使える送迎場となる予定です。</p> <p>このことについては、基本方針に記載しています。本市としては、引き続き、あらゆる機会を捉えて、市民の皆様に正しい情報を周知してまいります。</p>
10	9 頁	<p>駅北口送迎バス乗降場の移設先が、現丸之内プール跡地になる可能性があるのか。</p>	<p>丸之内公園水泳場廃止後の利活用につきましては、周辺住民のための公園として再整備する予定です。</p>

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
11	9 頁	<p>駅のそばに城があるのは、市民の誇りである。</p> <p>北口広場は城の庭である。</p> <p>利便性を有した美しい庭として福山市に整備して欲しい。</p> <p>今まで見えていた緑や広い空間が心に安らぎを与えていたが、それを無くし大きな建物を建てるのは、駅裏に圧迫感ができて憩いの広場がなくなるようで非常に残念。</p> <p>駅北口広場がJRの所有地となることで、広場が公共広場としての性格を失い、JRは営利的な整備を追求できる。JRの整備案は、既存のゆったりした空間を犠牲にし、北口広場の機能を著しく後退させるものである。施設整備が必要ななら、既存のさんすてでやればいい。</p>	<p>福山駅北口広場は、駅の送迎場として整備されてから約40年が経ち老朽化することで周辺の活力を低下させていることに加え、市民の誇りである福山城へと人々をいざなう玄関口の機能に問題がありました。</p> <p>また、現在の一般車送迎場は、無料であることによる長時間駐車や駐車容量の不足に端を発し、送迎機能の低下や周辺道路の渋滞など様々な交通問題へと波及している状況にあります。</p> <p>本市では、これらの問題を解決し、魅力とにぎわいのある駅前再生や福山城築城400年に向けて、取り組んでいく必要があります。</p> <p>こうしたことから、2019年（平成31年）3月に本市が公表した、「福山駅北口広場整備基本方針」の策定の過程で、本市の案とJR西日本の提案を比較し、専門家や市民などからも意見を聴く中で、建物の圧迫感や南北交流軸の形成、駅北口の玄関口機能などを比較する中で、最も優れているJR西日本の提案を採用したものです。</p> <p>なお、広場内にある樹木等の扱いについては、駅北口広場整備に先立ち、別途、移植するなど検討を行ってまいります。</p>

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
12	9 頁	<p>新幹線が開通し今まで新幹線の窓から見える福山城がとても美しく印象的だと人々は感じ、福山市へ降り立つところから景観は始まっている。城だけが見え、よい気分になるのではなく、広い空間、緑、木々、花、空が一面に視界に入ることによって福山城が生きる。</p> <p>これからの時代、駅周辺にどのような施設を作っても人が集まることはない。網の目状に地下鉄を整備すれば可能かもしれないが、福山は車社会である。無料で広い平面の駐車場がない限り不可能である。</p> <p>人は理由なく本能的に緑のある空間に寄って行く。</p> <p>J R 西日本に駅北口広場の土地を渡さないで欲しい。</p> <p>土地を渡さず、福山の文化ゾーンへといざなう憩いの空間として使えるよう大切に守ってほしい。</p>	<p>駅前広場及び駅北口広場には、それぞれ本市と J R 西日本の所有地があるため、お互いの利用を制限し合う状況にあり、それぞれの強みを生かした土地利用ができませんでした。</p> <p>こうしたことから、昨年度、専門家や市民などの意見を聴き策定した「福山駅北口広場整備基本方針」の中で、駅前広場はすべて本市所有地、駅北口広場はすべて J R 西日本所有地とすることとしています。これにより、駅前広場は、交通事業者である J R 西日本の企業経営の目的に即した土地利用という制約を受けることなく、本市が駅前再生等に向け自由に活用することができるようになります。</p> <p>また、J R 西日本は、駅北口広場に本市の土地があることによる制約を受けることなく、民間企業の強みを生かし、平面では実現できない容量があり、利便性の高い送迎・駐車機能を整備したり、店舗や展望広場など駅前広場から福山城へといざなう玄関口機能を実現しエリア価値の向上を図ることができません。</p> <p>民間企業である J R 西日本が駅北口広場の土地を所有することに対する将来の土地利用の不安を払拭するため、交換する本市所有地に対して、駅北口広場にふさわしい土地利用がされるよう、都市計画法に基づく「地区計画」を指定し、建築物の用途等を制限した上で、土地交換をすることとしています。</p>

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
13	9 頁	<p>福山が誇る文化遺産である福山城周辺をゆっくりと散策できる「福山城周辺のウォークアブルエリア」の重要ポイントの一角を壊してバスターミナル化してしまうことは、福山城周辺の景観を台無しにしてしまう。</p> <p>また、送迎バス乗降場の移設により、交通渋滞の慢性化や通行者の安全性も悪化する可能性が大きい。</p> <p>近隣住民に対して住民説明会が一度も行われないうまま、事業が進められている。福山市の事業推進姿勢として納得できない。</p>	<p>歩行者がゆっくりと散策するための機能と福山城を訪れる観光客のための駐車場機能は、いずれも福山城公園に必要な機能と考えております。</p> <p>当面の間、送迎バス乗降場の移設先となる福山城公園の駐車場整備につきましては、周辺交通への配慮や歩行者の安全を確保するよう整備を進めてまいります。また、公園内ですので、周辺環境と調和したものになるよう配慮してまいります。</p> <p>福山駅北口広場整備と送迎バス乗降場の移設につきましては、事業の実施にあたり、住民説明会などを通して、事業の内容について説明してまいります。</p>
14	9 頁	<p>福山駅北口広場にある送迎バス乗降場の移設先がなぜ福山城の東側公園部分になったのか。</p>	<p>送迎バス乗降場の移設先につきましては、「福山駅北口広場整備基本方針」に基づき、乗降客が回遊し活性化の効果が期待できる福山駅前周辺に整備することを基本としておりますが、駅前広場などの整備の方向性が決まるまでの当面の間、移設先として、福山城東側公園部分に整備することとしております。</p> <p>これは、福山城築城 400 年など、福山城を訪れる観光客の増加を見込んで、福山城公園の駐車場として整備するものを暫定的に送迎バス乗降場として使用するものです。</p> <p>福山城には城の北側に既設のバス駐車場がありますが、市外から訪れる人には分かりにくく、駅から遠い場所にあります。</p> <p>よりアクセスしやすい場所に安全に分かりやすく誘導するため、今回の場所に整備するもので、福山城公園の施設として必要な機能だと考えております。</p>

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
15	9 頁, 10 頁	<p>福山城周辺景観地区の指定を行うのに、J Rが高さ 23mの施設整備を行うというのは好ましくない。これは、J Rの整備を後押しするものである。</p>	<p>少子高齢化, 人口減少による地価の低下や駅前再生, 築城 400 年に向けた環境整備への期待から, 本市のシンボルであり市民の誇りである福山城周辺に, 高層建築物が建築される可能性が高まっています。</p> <p>こうしたことから, 2018 年度 (平成 30 年度), 「福山市景観計画」を部分改定する中で, 市民アンケート等を実施し, 専門家や市民などの意見も聴き, 天守に隣接し, 又はその背景に高層建築物などが建設されることがないように, 約 400m の範囲内については, 容積率, 建ぺい率はそのままに, 建築物等の高さを福山城天守基台石垣天端の地上高である 23m に制限することとしました。</p> <p>また本市は, 2018 年度 (平成 30 年度), 景観計画の部分改定と並行して「福山駅北口広場整備基本方針」を策定していましたが, J R 西日本は, この高さ制限の方向性を踏まえ, 高さ 23m 以下で計画提案をしてきたものです。</p>

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え方
16	14 頁	既存の施設を壊してまで改修する案で無く、出来るだけそれらに加える事で良いものに変身する。それが本当に良い設計では無いですか。	本市は既存の遊休不動産を新しい使い方で積極的に活用し、まちの魅力やにぎわいを生み出すリノベーションまちづくりに取り組んでいます。 また、施設によっては老朽化などにより建替えが必要なものもあります。これら両方の手法を活用した再生に取り組んでいます。
17	17 頁	「閉鎖リノベーション」とはどのような手法なのか。	閉鎖リノベーションとは、需要に見合うフロアや床部分の活用に合わせて改修などを行い、その他を閉鎖するリノベーション手法のことです。 「閉鎖リノベーション」は「1階部分を活用し、最小のコストでのリノベーション」に修正します。
18	29 頁	図表 32 は、駐車場の誘導・集約後のイメージではなく、現状を表現しているのか。	現在の駐車場が集積している場所を示しています。

3 今後の参考とするもの（20件）

番号	意見要旨
1	「福山駅周辺を居心地が良く、歩いて楽しい空間へと転換」という考え方に賛同する。
2	福山駅前がこの計画通りに進むと素晴らしいと思います。今後、賑わっていくことがとても楽しみです。
3	ビジョンと同様に「人中心」を「人」中心に変更した方が良い。
4	1頁の「人材」という用語と、「人」中心」という用語とが並立することになるため、「人材」を「人々」に変更した方が良い。
5	エリアビジョンと区別するために、6頁の「ビジョン」という表現を「福山駅前再生ビジョン」に変更した方が良い。
6	「居心地がよく」は「居心地が良く」に統一した方が良い。
7	福山駅周辺におけるサイン類の意匠、設置・標示、誘導などに関する、公民ともに従うべきガイドラインを、福山駅前デザイン会議が作ることはできないのか。
8	福山駅前広場に木陰ができる樹木を多く配置し、ベンチで休憩したり、バスを待ったり、広場の東西市街地を回遊する人が集ったり、市民が心地よく利用できる空間にする。樹木を多くすることによって広場の高温化を抑えバスの排気ガスによる大気汚染の軽減にもつながる。
9	福山駅前広場の石垣遺構や周囲に樹木を配置し、バス待合室もそれなりのデザインにし、現在駅西広場にある「五浦釣人像」をこちらに移しこの広場を歴史景観ゾーンにする。このことによって、天満屋あたりから福山城を眺めた時にこの広場とお城が一体化してお城のシンボリック的存在感を高めることになる。
10	福山市のシンボルであるバラをアピールするために、現在「五浦釣人像」がある西広場に近代アートのモニュメントを中心にバラを植樹し、利用者が憩える近代景観ゾーンにする。
11	歴史景観ゾーンや近代景観ゾーンと再開発高層ビルゾーンを分離している道路を、現在駅への送迎車用として使用されている地下道路を活用して地下化することも検討の一つと考える。
12	リムに劇場を作ってください。中ホールくらいのキャパで。エストパークが無くなったと聞き、なおさら駐車場有のところは便利で活性化すると思う。
13	表口で不自由を感じるのは、例えば天満屋に行くのに2回の信号を経なければなりません。これが意外と面倒です。これを避けるため、福山駅2階前にテラスを設けることにより、山陽本線からの乗降客が地上にある信号を気にすることなく自由に行きたい方向、店舗に出入りできるようになるのではないかと思います。

14	福山駅周辺へは駅の利用（新幹線や電車）、市役所への用事、駅前での飲食（飲み会）以外で訪れる目的が少なく全く魅力を感じません。「三之丸町周辺エリア」への「温泉施設・大型家電店・大型書店・インターネットカフェ店等からなる複合施設」整備を希望します。
15	丸之内水泳場は昭和三年市民の藤井与一衛門氏が福山市の体育奨励のため寄付されたお金で建設されるに至ったという事を聞きました。およそ100年の月日が過ぎますが、氏の大きな物心を尊重した賢明な計画であることを期待しています。
16	リムの閉鎖リノベ案に賛成ですが、活用案を検討して1床でも増やして下さい。
17	リムのフロアを活用して地域ビジネスを活性化する。地元の代表的企業や独自の技術を有する企業のアンテナショップやコンパクトオフィスの開設など。
18	リムのフロアを活用して訪日職業訓練生の支援を行う。飲食店や物販店を併設した支援事務室の開設など。
19	ふくやま美術館のアプローチで訪日職業訓練生の生活支援と地域を巻き込んだ交流を行う。オープンカフェの定期的な開業、チャレンジショップを開設し開業者を育てるなど。
20	古き駅前商店街の部分改修再生で高齢者の買い物を復活させる。商店街の空き店舗を活用して、オープンな休憩場やキッズスペース、休憩が可能なサロンなどを開設する。